

和光市雨水貯留槽設置費補助制度 よくあるお問い合わせ

Q 1 : どの機種、どのくらいの容量が良いのか分かりません。

A 1 : 約80リットルで、家庭用のお風呂の浴槽一杯分とお考えください。機種については、材質価格等様々で一長一短がありますので、十分検討の上、詳細については販売業者の方へお問い合わせ願います。

Q 2 : ホームセンター等で購入したものについても補助が出ますか？

A 2 : ホームセンターで購入した製品についても助成の対象となります。

Q 3 : 設置までしてもらえるのですか？

A 3 : 設置費を別料金にて設置を行っている販売業者もありますので、直接お問い合わせ願います。設置費につきましても補助対象となります。

Q 4 : 補助金は先にいただけるのですか？

Q 4 : 購入費は、立替払いをしていただきます。雨水貯留槽を設置した後、申請書兼請求書（様式第1号）を提出いただき、内容を審査した後、交付決定及び補助金交付手続きを行っていきます。

Q 5 : 補助金の交付にはどれくらいかかりますか？

A 5 : 提出された書類に不備がない事が確認されてから、2週間程度で指定口座に支払われます。

雨水利用についてのQ&A

Q 1：雨水はどこから集めるのですか？

A 1：家屋の屋根などに降った雨を雨樋から貯留槽に集めます。きれいな水を貯めるには、落ち葉が多い場所や人の出入りが多い場所を避けるなど汚れの少ない場所を選びます。

Q 2：雨水貯留槽の設置場所はどのくらいの広さが必要でしょうか？

A 2：貯留槽の形状にもよりますが、設置するには、雨樋の近くで1㎡程度の平坦な場所が必要です。満水になるとかなりの重量になるので、転倒しないように基礎に注意してください。

Q 3：貯めた雨水は腐りませんか？

A 3：日常的に使用していれば腐りません。ただし、落ち葉などの有機物が混じったり、太陽の光が貯留槽に差し込むと藻が発生したり、長時間放置すると腐敗する場合があります。

Q 4：雨水貯留槽の耐久性はどのくらいあるのでしょうか？

A 4：材質や設置された環境によって異なりますが、一般的なポリエチレンやステンレス製で10年以上は使用できます。

Q 5：貯めた水に蚊が発生しませんか？

A 5：貯留槽のフタを開けたままにしない、雨水流入口の防虫網を張るなどの注意をすることで、蚊が中に入ることを防ぎます。雨水を日常的に使用すれば、貯留槽内に雨水が長時間滞留しないので、ボウフラも発生しません。

Q 6：掃除などの維持管理はどうしたらいいでしょうか？

A 6：雨水流入口にフィルター等を設け、直接貯留槽内にゴミが入らない工夫をしていれば、フィルターの清掃を定期的に行う程度で日常の管理は充分です。年に一度程度はタンク内部を空にして、本体の清掃を行いましょう。

Q 7：雨水貯留槽は、どのような利用方法がありますか？

A 7：浄化処理を行っていませんので、そのままでは飲めません。直接体内に取り込んだり、触れたりしない用途として庭木の水やりや打ち水、災害時にはトイレの洗浄水や初期消火用水として利用できます。